a journal

NAGOYAKINEMA NEU

ナゴヤキネマ・ノイ

10 2026 月号

〒464-0850
名古屋市千種区今池 1-6-13
今池スタービル 2F
Tel.052-734-7467
https://nk-neu.com

10月の定休日
※11/3 以外の火曜
10/6・13・20・27

毎月発行

RESERVATION

■各作品の 10 日前から上映 1 時間前までは公式サイトからプリペイドで席のご予約ができます。

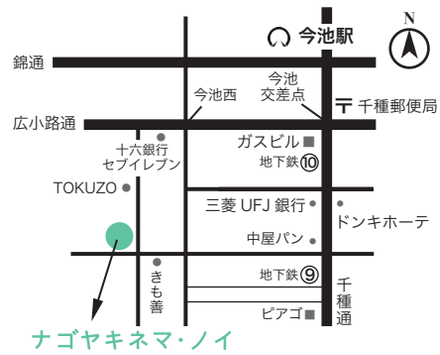
■現金でのご購入、特別鑑賞券、ご招待券をご使用の方は、10 日前から当日までの窓口受付 (座席指定) をご利用ください。

PLATFORM

公式サイト　公式 Facebook　公式 X @nkn_2024　公式 Instagram @nkn_2024

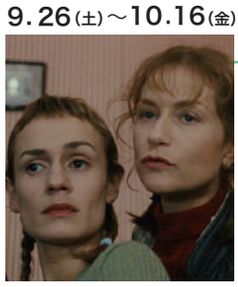
上映スケジュール表は２面をご覧ください

ACCESS



▶ 地下鉄今池駅⑨・⑩番出口より徒歩３分
▶ 今池スタービル２F (契約駐車場なし)

9.26 (土) ～ 10.16 (金)　クロード・シャブロル 傑作選 vol.2



《3 作品・入替》

①ヴィオレット・ノジエール
(1978年 124分 日本初公開)
②ベティ
(1992年 103分 日本初公開)
③沈黙の女
(1995年 111分)

10.3 (土) ～ 9 (金)　『ネネットとボニ』

監督 : クレール・ドゥニ　(1996 年 103 分)





10.3 (土) ～ 16 (金)　エッセンシャル・ヌーヴェルヴァーグ

《4 作品 / 入替》

①女は女である 4K修復版
(ジャン＝リュック・ゴダール 1961年 84分)
②女と男のいる舗道 4K修復版
(J=L・ゴダール 1962年 84分)
③はなればなれに 2K修復版
(J=L・ゴダール 1964年 96分)
④パリところどころ 2K修復版
(J=L・ゴダール、E・ロメール、C・シャブロル、J・ドーシェ、J・ルーシュ、J=D・ポレ 1965年 97分)

10.10 (土) ～ 23 (金)　『零下五十度の抑留者』

監督 : 許明淳 (コー・ビンスン)　(2025 年 85 分)



10.10 (土) ～ 23 (金)　『私の血に流れる血』

監督:マルコ・ベロッキオ
(2015年 108分)



10.17 (土) ～ 23 (金)　『ケルト・ユートピア』

監督:デニス・ハーヴェイ、ラース・ロヴェーン
(2025年 90分)



10.17 (土) ～ 30 (金)　『A Window of Memories』

監督:清原惟　(2023年 67分)
●舞台挨拶:10月18日(日)清原監督





10.17 (土) ～ 30 (金)　サリー・ポッター&ロビーナ・ローズ ～サッチャー時代の労働 / ロンドン～

《2 作品・入替》

①ナイトシフト
(ロビーナ・ローズ 1981年 68分 初公開)
②ザ・ゴールドディガーズ
(サリー・ポッター 1983年 89分 初公開)

10.24 (土) ～ 30 (金)　〈女性の休日〉記念ウイーク 《2 作品・日替》

①女性の休日　(パメラ・ホーガン　2024年 71分)
②〈主婦〉の学校　(ステファニア・トルス　2020年 78分)



10.24 (土) ～ 11.6 (金)　『審判 4K レストア版 』

監督 : オーソン・ウェルズ 原作 : フランツ・カフカ　(1962 年 119 分)



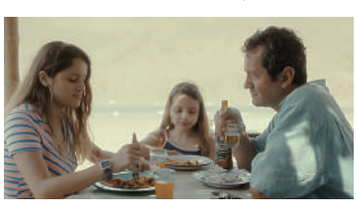
10.24 (土) ～ 11.6 (金)　『100 万カットの記憶』

監督 : コ・ヒヨン 出演 : 桑原史成　(2025 年 98 分)



10.31 (土) ～ 11.13 (金)　『マイ・リトル・クイーンズ』

監督 : クラウディア・レイニケ　(2024 年 104 分)







10.31 (土) ～　生誕 120 年 ジョン・ヒューストン特集

《4 作品・入替》

①アフリカの女王 4Kレストア　(1951年 106分)
②赤い風車 4Kレストア　(1952年 120分)
③ワイズ・ブラッド　(1979年 107分)
④火山のもとで　(1984年 112分)

上映作品提供 : マーメイドフィルム、コピアポア・フィルム、ザジフィルムズ、JAIHO、Gucchi' s Free School、太秦、ユーロスペース、amieee、愛知県美術館、プンクテ、kinologue、スモモ、ブエナワイカ、flickk、Stranger

10 月上映スケジュール表

※10 / 6・13・20・27(火)は休館です。
※11 / 3(火・祝)は開館いたします。

10/3(土) 〜 9(金)

	10/3(土)	4(日)	5(月)	7(水)	8(木)	9(金)
11:00	④パリところどころ	②女と男のいる舗道	①女は女である	③はなればなれに	④パリところどころ	②女と男のいる舗道
12・13 時台	13:00①女は女である	12:45③はなればなれ	12:45④パリところどころ	13:00②女と男のいる	13:00①女は女である	12:45③はなればなれ
14:50	クレール・ドゥニ 『ネネットとボニ』					
16:50	③沈黙の女	②ベティ	①ヴィオレット・ノジエール	③沈黙の女	②ベティ	①ヴィオレット・ノジエール
18・19 時台	19:00①ヴィオレット	18:50③沈黙の女	19:15②ベティ	19:00①ヴィオレット	18:50③沈黙の女	19:15②ベティ

10/10(土) 〜 16(金)

	10/10(土)	11(日)	12(月・祝)	14(水)	15(木)	16(金)
11:00	『零下五十度の抑留者』					
12:45	③沈黙の女	①ヴィオレット・ノジエール	②ベティ	③沈黙の女	①ヴィオレット・ノジエール	②ベティ
15:10	マルコ・ベロッキオ 『私の血に流れる血』					
17:15	②女と男のいる舗道	④パリところどころ	③はなればなれに	①女は女である	②女と男のいる舗道	④パリところどころ
19 時台	19:00③はなればなれ	19:10①女は女である	19:10②女と男のいる	19:00④パリところ	19:00③はなればなれ	19:10①女は女である

10/17(土) 〜 23(金)

	10/17(土)	18(日)	19(月)	21(水)	22(木)	23(金)
11:00	『零下五十度の抑留者』					
12:40	『ケルト・ユートピア』					
14:25	『A Window of Memories』					
16:15	ロビーナ・ローズ 『ナイトシフト』					
17:40	サリー・ポッター 『ザ・ゴールドディガーズ』					
19:30	マルコ・ベロッキオ 『私の血に流れる血』					

10/24(土) 〜 30(金)

	10/24(土)	25(日)	26(月)	28(水)	29(木)	30(金)
10:30	『女性の休日』		『〈主婦〉の学校』		『女性の休日』	
12:30	オーソン・ウェルズ × フランツ・カフカ 『審判 4K レストア版』					
14:45	『100 万カットの記憶』					
16:45	『A Window of Memories』					
18:10	ロビーナ・ローズ 『ナイトシフト』					
19:40	サリー・ポッター 『ザ・ゴールドディガーズ』					

10/31(土) 〜 11/6(金)

	10/31(土)	11/1(日)	2(月)	3(火・祝)	4(水)	5(木)	6(金)
11:00	『100 万カットの記憶』						
12:50	『マイ・リトル・クイーンズ』						
14:50	③ワイズ・ブラッド	①アフリカの女王	④火山のもとで	②赤い風車	③ワイズ・ブラッド	①アフリカの女王	④火山のもとで
16・17 時台	17:00④火山の	16:50②赤い風	17:00③ワイズ	17:10①アフリカ	17:00④火山の	16:50②赤い風	17:00③ワイズ
19:10	オーソン・ウェルズ × フランツ・カフカ 『審判 4K レストア版』						

ご入場料金・入替制

一般 1800 円　大学生・会員 1400 円　高校生以下 1000 円　シニア(60 歳以上)1300 円
障がい者・会員(シニア・学生)1100 円　ペア割(2 名)2800 円
○会員サービスディ:木曜日　会員・障がい者 1000 円・会員 1 名とのペア(2 名)2000 円
○ファーストディ　一般 1200 円　会員・障がい者 1000 円

会員募集

お申込日から 1 年有効で 2000 円。
会員特典は当日ご料金の割引きのみになります。
受付は劇場窓口にてお願いいたします。

クロード・シャブロル傑作選 vol.2

3 作品 / 入替

ヌーヴェルバーグの重要作家シャブロルの傑作選第 2 弾。1933 年に両親を毒殺し恩赦後はシュルレアリストたちのミューズとなった実話の少女の魔性を、キャリア初期のイザベル・ユペールが完璧に演じカンヌ女優賞を受賞した**『ヴィオレット・ノジエール』**(124 分)。J・シムノン原作で、政界に巣食うブルジョワジー一族から退廃的な夜の社会へ流れていく繊細な女性(マリー・トランティニャン)を大胆なカットバックとスピード感溢れる語り口で描く傑作**『ベティ』**(103 分)。初公開の 2 作に加えて、英国ミステリー「ロウフィールド館の惨劇」が原作の**『沈黙の女』**(111 分)。裕福な夫婦(ジャクリーヌ・ピセット、ジャン=ピエール・カッセル)の邸宅で家事を担うソフィー(サンドリーヌ・ボネール /ヴェネチア最優秀女優賞受賞)の秘密が、友人(I・ユペール)の挑発と一家の娘(ヴィルジニー・ルドワイヤン)の善意によって露見し破壊的な暴力を募らせていく…監督自身も脂がのりきった不朽の名作。

エッセンシャル・ヌーヴェルヴァーグ

4 作品 / 入替

時代の空気を吸い込むように、映画にさらなる自由を取り入れていった、数あるヌーヴェル・ヴァーグ作品の中でも、とりわけ鮮烈な印象を残す、J=L・ゴダール+アンナ・カリーナ+ミシェル・ルグランの**『女は女である』**(84 分)**『女と男のいる舗道』**(84 分)**『はなればなれに』**(96 分)と、この時代を代表する 6 人の監督がパリを描くオムニバス映画**『パリところどころ』**(97 分)を大特集。デジタル修復によって、往事の輝きが取り戻され、新たな出会いに絶好の機会。

『ネネットとボニ』

国際的評価の高いフランスの映画作家クレール・ドゥニの美学が凝縮された重要作品。南仏マルセイユのピザ店で働き、ベイカリーの女性に憧れる兄と突然、街に戻ってきた妹。ぎこちない二人の生活を身体や空気のゆらぎによって繊細に表現。1996 年ロカルノ映画祭金豹賞。同時代のアイコン、ヴァレリア・B=テデスキ、ヴィンセント・ギャロ共演!(103 分)

『零下五十度の抑留者』

太平洋戦争の戦時下に植民地であった台湾からも、およそ20万人が出征した。終戦後、約60万人の旧日本軍兵士や民間人がソ連によってシベリアや中央アジア各地に連行され、過酷な労働を強いられ、6万人の命が失われた中に台湾出身者も含まれていた。シベリア抑留である。本作は、現在確認されている中で、その唯一の生存者である呉正男さんを中心に、台湾出身の日本兵、そしてその家族の記憶を辿り、語られなかった過去に光を当てるとともに、戦中戦後史を別の視点で捉え直そうとする試みでもある。(85分)

『私の血に流れる血』

『夜の外側　イタリアを震撼させた55日間』『夜よ、こんにちは』など社会派作品で高い評価を誇るイタリア映画の巨匠マルコ・ベロッキオ(1939～)が、宗教×魔女裁判、国家経済×バンパイアの異色のテーマで、民間伝承がねじれ合う17世紀と現在の北部イタリアを背景に凝った撮影で創出するビザールかつ真摯な衝撃作。(108分)

『ケルト・ユートピア』

街角で、パブで、荒涼とした海岸や丘陵で、詩とリズムとメロディが生まれてきたアイルランド。植民地政策と宗教対立による苦難と抵抗の歴史を超え今なおR&B、パンクやHIPHOPとして歌い継がれるネオ・フォークロアのスピリットが沁みるドキュメンタリー。(90分)

『A Window of Memories』

『わたしたちの家』『すべての夜を思いだす』で、映画表現の次の扉を開いた清原惟監督最新作。

監督自身のふたりの祖母の言葉を再録し、俳優である小山薫子と坂藤加菜が朗読することで構成される映像は、個人史を形作る言葉が、他者を刺激し、大きく巻き込んでいくような作用を生み出す再構成の装置になっている。ささやかな日常を紡ぐ言葉が感情を喚起し、層をなす時間の集積として立ち現れる傑作。製作：愛知県美術館(67分)

サリー・ポッター＆ロビーナ・ローズ ～サッチャー時代の労働/ロンドン～

2作品/入替

近年要注目の映画作家サリー・ポッターが80年代英国の排除と分断を再生する社会構造を鋭く突いた絢爛たる芸術映画『**ザ・ゴールドディガーズ**』(89分)。主演はジュリー・クリスティ、撮影は『ジャンヌ・ディエルマン…』のバベット・マンゴルト。ポストパンク時代のロンドンを捉えたアクティビスト、ロビーナ・ローズによるMoMA所蔵の幻の傑作『**ナイトシフト**』(68分)は、ヴィヴィアン・ウエストウッドのショップ「SEX」のカリスマ店員ジョーダン主演。撮影は「ニューズリール」のジョン・ジョスト！音楽サイモン・ジェフス(ペンギン・カフェ・オーケストラ)。

「女性の休日」記念ウイーク　2作品/日替

1975年10月24日、北欧アイスランドで起こった抗議アクションの傑作ドキュメンタリー『**女性の休日**』(71分)を記念上映。また、男女共学で家事を学ぶ寄宿学校を取材しアイスランドの暮らしぶりを綴る楽しい『**〈主婦〉の学校**』(78分)。

『審判 4Kレストア版』

理由もわからぬまま逮捕され、裁判にかけられる会社員ヨーゼフ・K。その不条理な顛末は見るものもまた、何もわからないままに法廷という迷宮に誘うことになる。

フランツ・カフカの摩訶不思議な小説を、アンソニー・パーキンス、ジャンヌ・モロー、ロミー・シュナイダー、そしてウェルズ自身も出演する豪華な布陣で、1962年にオーソン・ウェルズが監督し、公開当時は正当な評価を得られなかった怪作が、4Kレストア版で、半世紀以上を経て、新たな評価を待つ。(119分)

『100万カットの記憶』

報道写真家・桑原史成(1936～)。1962年の水俣取材でデビューして以来、水俣、ベトナム戦争、北朝鮮、韓国、ソ連崩壊と民主と平和を求めて激動する社会渦中の人々を桑原独特のまなざしで記録し続けてきた。最初期の韓国取材で通訳を担ったパートナーの和子と共に遍歴と貴重なフィルモグラフィをたどるドキュメンタリー。(98分)

『マイ・リトル・クイーンズ』

90年代初頭A・フジモリ政権下のペルーの首都リマ。経済危機と夜間戒厳令を危惧したエレナは娘のアウロラとルシアを連れ、3週間後の米国移住を決めている。娘たちの出国には離婚した夫カルロスの同意が必要だが呑気で陽気で職業不詳、神出鬼没の元夫に振り回されていく…。レイニケ監督の自伝的作品でありこころ豊かに暮らしてきた一族の結束を繊細に描写する好感度の高い傑作。国内外、ベルリン、スイスなどでも映画賞受賞。(104分)

生誕120年　4作品/入替 ジョン・ヒューストン特集

一昨年の特集でも大好評を博したジョン・ヒューストン監督。破天荒な人生、そしてあまりにもジャンルを選ばない作風で捉えどころがない巨星の特集企画。

H・ボガード＆K・ヘップバーンのロマンティック・アクション・コメディ『**アフリカの女王**』(106分)、画家ロートレックの涯を描く『**赤い風車**』(120分)、フラナリー・オコナーの原作を元に、神なき時代の宗教の問題を提起した異色作『**ワイズ・ブラッド**』(107分)、極度のアルコール依存を抱える元イギリス領事のメキシコでの破滅的な日々を綴る『**火山のもとで**』(112分)とハズレなきセレクション。

next arts 通信

北海道庁旧本庁舎

2年ぶりに札幌に行った。赤れんが庁舎の外観がプリントされたシートに覆われて、長らく改修工事中だった北海道庁旧本庁舎が、昨年7月にリニューアルオープンしていたので、中に入ってみた。

1888(明治21)年に竣工した歴史的建造物は、2018年に北海道命名150周年を機に大規模な改修プロジェクトが計画されたという。建築だけでなく、アイヌ文化、北海道の遺産、全道179市町の紹介などの目配せがされていて、まさに文化観光の新しい施設の様相だった。

まず2階の＜歴史と文化のフロア＞で目を引いたのは廊下に200号の片岡珠子《函館街頭風景》など、数々の大作絵画があったこと。1969年に庁舎が国の重要文化財に指定されたことを記念して、北海道開拓使にまつわる絵画を北海道ゆかりの画家20人に道が依頼したものだというから納得。1階は＜地域情報とにぎわいのフロア＞、さらに地下1階＜学びと継承のフロア＞で地味ながら見逃せないのは、「樺太関係資料室」と「北方領土展示室」の存在だ。カフェやレストラン、ショップなども観光客に人気だろうが、こうした博物館的な展示要素にその矜持が伺えて、一般300円の入館料は、充分に良心的だった。

【トトち】

ナニやってんだか！(16)

福島原発事故は、炉心がメルトダウンしたのに隠され、放出された放射性物質の広がりを予測する緊急時迅速放射能影響予測システムのスピーディーの情報も隠した。放射能汚染にさらされた人たちがいたのに、不都合な真実は隠したがる。

安倍政権で2013年に成立した秘密保護法では「ヒミツ」の範囲は「防衛」「外交」「スパイ防止」「テロ防止」の4分野で、これに当たると思われたら何でも「ヒミツ」にされてしまう。しかも、最高で10年の罰則が付いて「ヒミツ」を扱う公務員ばかりかマスコミ、一般市民も対象にされてしまう。ったく、ナニやってんだか！

原発はテロの標的になるので、「テロの防止」を理由に「ヒミツ」にされてしまい、市民やマスコミの監視の目が届かなくなってしまうからメチャヤバい。浜岡原発の耐震データ不正事件は、テロ防止に当たらないと思われたから公表され、再稼働の申請の取り下げと会長、社長の辞任となったけど、実はこの二人、特別顧問として居続け、反省なんかしていなくて原発を必ず動かすつもり。今回は公表されたけど、次回「ヒミツ」にされてしまうかも。だから、原発は存在してはいけない。今のうちに廃炉にするしかない。

☆10月10日(土)13：30～16：00イーブルなごや大ホールで「今浜岡原発をやめる理由」大島堅一さん講演、入場無料　☆10月14日(水)17：30～18：30浜岡原発やめて！緊急アクションで中部電力本店包囲します。ぜひご参加を。問い合わせ先080-3285-1713武藤

(しょう)

あいまい、まいにち、こんにちは

先日、昭和文化小劇場で『INDEPENDENT：5SS』を観た。25年の歴史をもつ最強の一人芝居フェスティバル『INDEPENDENT』のセレクションツアーで、2021年から2025年までの5th Seasonに上演された171作品から厳選された10作品が全国7都市を巡演する企画だ。さらに各地域では、その土地ならではの作品も上演される。

これまで私は一人芝居を観る機会が少なく、印象に残る作品にも出会えなかったので、一人芝居が面白いというイメージが無かった。しかし、今回はその考えを覆された。セレクションの作品はどれも圧巻で、表現力の豊かさに驚かされた。

少し意味合いは異なるかもしれないが、モーニング娘。のプロデューサーのつんく♂さんが「ヒット曲を出すコツは、とにかく数を作ること」と語っている。全国各地で数多くの作品を生み出し続けてきた『INDEPENDENT』の厳選された作品を観ることで、一人芝居に対する私の見方は大きく変わった。また、INDEPENDENTプロデューサーの相内さんのコメントを読んで、演劇やその創り手に対するアツい思いを感じ、こういった情熱が、長年続くフェスティバルをつくっていくのだなと感銘を受けた。

さて、話は変わるが、10月に注目している公演についても触れておきたい。10月15日～18日に七ツ寺共同スタジオで上演される、喜劇のヒロイン『痛くない歯の治療』。昨年、劇作家協会新人戯曲賞の佳作を受賞した、新宮虎太朗さんの新作で、タイトルの可愛さにとても惹かれている。作品の内容がどのようにこのタイトルと結びつくのか、楽しみだ。

(i)

ウニタ書店情報 (052-731-1380)

世界中で分断が拡がっている。それは国家レベルに留まらず、市民レベルまで、＜われら/やつら＞という味方と敵を峻別する言説が溢れかえっていることからも明らかだ。こうした＜分極化＞した世界を変えていく術はあるのだろうか。その手がかりになる書が、5月に刊行され、現在も版を重ねている「**バラバラな世界で共に生きる**」(朱喜哲/著、NHK出版新書)だ。アメリカの言語哲学者であるリチャード・ローティの著作「哲学と自然の鏡」「偶然性・アイロニー・連帯」「アメリカ未完のプロジェクト」を読み解き、彼の思想の本質をわかりやすく綴っている。ローティは、「真理を探究する」という究極的な目標を掲げる伝統的な哲学に異議を唱え、＜人類の会話＞が途絶えることのないようにするための学問が哲学であり、そのためにも＜ことばづかい＞が決定的に大切であると主張した。とかく私たちは「正しさ」を強調し、相手を説き伏せようとするが、それは本当の意味での問題解決にならないのであり、時には自らにとって重要な＜終極の語彙＞＝真理すらも、会話を通して改訂していく姿勢＝「連帯」を、彼は説き続けた。バラバラな世界で、バラバラであることを受け入れながら、共に生きていくために何が必要なのかを、深く考えさせてくれる書である。

いなかのじけん

脳と力

パワーアシストスーツ展示会に行きました。『エイリアン2』でシガニー・ウィーバーが装着してたアレでは、もちろんありません。もっともっとうーんと小ぶりです。

「どういったご職業ですか。」「農家です。米袋が重いので腰が痛くならないように。」では、と、取り出したるは、ポンプで空気を入れる、ちょっと大きめのタイプ。着けさせてもらって、10kg、15kgのお試しケースを持ち上げる。アレレ、随分と重たいぞ、10kgってこんなに重たかったっけ。それに地面に置かれた物を持ち上げようとすると、装置の太腿部分がじゃまになって、うまくかがめない。「そういう時はですねえ、少し空気を抜いていただいて、と、これでどうでしょう。」手は届くようになったが、空気を抜かれてはねえ、重い。まだ動きづらい。「こちらのタイプはいかがでしょう。」今度は腰と太腿に装着させるバネタイプ。動きやすくなったものの、やはり重いものは重い。「外してみて比べてください。」確かに着けてた方が軽く感じる、気がする。きっと一日中働いて、夕方になって、アレっ、いつもより腰が軽いぞ、と思う程度だろう。「えっ4万円。」「でしたら2万円のこちらはどうでしょう。」どんどん出てくる。着けてみる。持ってみる。グキッ。ぎっくり腰をやってしまった。やはり安物はよろしくない、という教訓。と共に、軽く持ち上がる、と思い込んだ瞬間、逆に力が入らず、モノは重くなる。脳はそんなイタズラをする。安易に頼るな、鍛えよ、ということか。

ナゴヤ
キネマ・
ノイ
NAGOYA
KINEMA
NEU
協力店

みその皮膚科医院
Misono Dermatology Clinic
[院内処方 / 保険診療]
診療時間
午前 10 時～13 時・午後 15 時～20 時
毎週土曜・日曜・祝日休診
地下鉄伏見駅10番出口より徒歩2分
052-232-2214
http://www.misonohifu.com/

BAR
パ・リ・カ
(円頓寺 Les piliers 併設)
演劇、映画、アート、音楽をつまみに
名古屋市西区那古野一丁目18-2
090-1620-4591(加藤)
国際センター駅②出口から徒歩5分
丸の内駅⑧出口から徒歩8分
不定休
詳細はツイッター@perkypat1962

GOOD BOOZE CHEAP FOODS & HIP MUSIC
Takuzo は
朝までやってる
呑み屋である。
052-733-3709
年中無休 pm6:00～am5:00
シネマテークより北、広小路通へ
抜ける手前の青いビル 2F
open house
Analog Record と
Restaurant Bar
052-753-4300
火曜定休 pm6:00～am1:00
シネマテークより東、環状線に
抜けた角、中屋パン地下 1F

JAZZ
MATILDA
DRINK & FOOD


●気軽に入れる小さなお店です
●お一人様大歓迎。 ●日・月曜定休 ●席料¥500
●オーダー¥300～ ●営業時間19:00～24:00
名古屋市中区栄三丁目9番22号グランドビル5F
☎052-263-6272

パンクをしたら
DAISY
052-228-0977
急ぎの荷物も当日お届け！
自転車便・自転車出張修理
デイジーメッセンジャー
名古屋市中区新栄 2-2-19

Hair Salon VARIÉTÉ
WEB: http://variete.hp4u.jp
ヘアサロン バリエテ
営業時間
平日11:00～21:00 土日祝10:00～19:00
定 休 日
月曜・第3月火曜連休
千種区池下1-6-20 ☎751-7774
(チサンマンション池下203号) 1Fに「ドゥリエール」のあるビル

感じる、考えるひとのための本屋
bookshop & gallery
ON READING
www.onreading.jp
on_reading
地下鉄東山公園駅 2 番出口より徒歩 1 分

おかげさまで19周年
女性専門
からだほぐし & 足つぼ
みずたま
10:00-20:00
火曜・第1/3水曜休
本山駅 6 番出口すぐ
052-781-8239



SHIMAUMA BOOKS
シマウマ書房
ナゴヤキネマ・ノイから東へ
徒歩５分。古本屋です。
名古屋市千種区今池 5-14-3
11:00－18:00
定休日 火水
www.shimauma-books.com

アンティーク・リサイクル着物&カフェ
らんまる 蘭丸で

ウール400円～、正絹小紋2500円～
名古屋帯2500円～、半幅帯300円～
小物やオリジナル商品もございます。
キネマ・ノイより、南へ徒歩2分
052-735-6053
p.m.1:00～7:00 / 火曜・水曜定休
名古屋市千種区今池3-2-9ママビルディング1階

骨董・古書・美術品

これれば
鑑定・買取
昭和区桜山
☎052-853-1961

静寂の珈琲店
読書珈琲リチル

地下鉄今池駅徒歩1分



天然酵母パンとお野菜中心のお昼ごはん
鞠奴パン食堂

●営業日／木・金曜日 am11時半～pm4時
緑区鳴海町鉾の木31-2 TEL080(4301)3102
鍼灸「ハリのむしろ」も併設

中国伝統鍼灸・冷えとり健康法
帰来堂
鍼灸療院
地下鉄池下駅1番出口すぐ
9:30-18:30(最終受付) 不定休
052-752-7817(予約制)kiraido.com
千種区池下1-11-7 MEビル202

おもしろ 楽し
三味線教室
無料体験しませんか
清元美哉廣
090-6369-7795
otanesan9@gmail.com
桜山駅近く


群れない魂の止まり木
星屑珈琲
静かな夜型喫茶

ナゴヤキネマ・ノイから168歩
本と酒
ANZAI COVE'n DOCK
安西コーブンドー
19時～27時
不定休

ホフェッシュ・シェクター・カンパニー
Theatre of Dreams
シアター・オブ・ドリームズ
「劇場は人生を映す鏡。
普段は抑圧されている感情に出会う場所だ。」
ホフェッシュ・シェクター

Photo. Todd MacDonald
10月16日(金) 13:30・17日(土) 15:00
愛知県芸術劇場大ホール(愛知芸術文化センター2階)
主催・企画・制作・お問合せ 愛知県芸術劇場 TEL:052-211-7552(10:00-18:00)

印刷のことなら何でもご相談ください。
もくもくさん
http://mokumoku.asia
名古屋市瑞穂区 tel 052-852-7611



LES FILMS
ESSENTIELS
DE LA
NOUVELLE
VAGUE
女は女である (4K 修復版)
女と男のいる舗道 (4K 修復版)
はなればなれに (2K 修復版)
パリところどころ (2K 修復版)
10/3(土) 公開
ナゴヤキネマ・ノイ
NAGOYAKINEMA NEU
特別鑑賞券(4回券)4000円(カード付)
10/2 まで発売中！

Free Palestine!

私たちにできること


名古屋シネマテークの
支配人平野勇治の遺稿集
平野勇治 著
安住恭子 発行
小さな映画館から
1650円(税込)
ウニタ書店・ナゴヤキネマ・ノイで販売中

たまさかの古本屋
シマウマ書房の日々

鈴木 創 著
2200 円 (税込)
亜紀書房／発行
１２月９日発売 各書店にて